

様々な月齢の子どもたちがいるうさぎ組。今まで握っている玩具を振るだけだったのが、持ち替えたり、意思で手から離したり、手ではなく指でつかんだり遊び方にも変化が見られるようになってきました。そこで、室内遊びでは、指や手を使った遊びをたくさん取り入れています。

今後一人ひとりの発達にあった遊びを用意し、遊びの中で楽しく成長に必要な力を身に付けていけるよう援助していきたいと思います。

ぽっとん落としに挑戦～1つの玩具でも面白さを感じる部分は様々～

ぽっとん落としは、ミルク缶の蓋に穴を開け、子どもの手に持ちやすいようにペットボトルのキャップを繋げたものを穴に落とす手作り玩具です。持つ、持ち替える、押す、入れる、手に持ったものを意思で離すなどの手指の細かい動きが経験できる遊びの一つです。



この穴の中に入るかな？

ひっかかって上手く入らないな～。



指で上手に掴んでいるよ！



入れる穴とペットボトルキャップの位置を合わせることも、微細な力加減が必要で、子どもたちにとっては難しい動きです。どの子も、なかなか入らないからこそ面白みを感じ、集中して遊んでいましたよ。



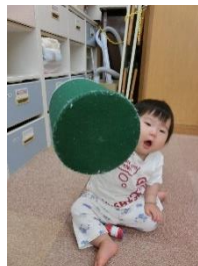
～蓋に興味をもったRちゃん～

蓋の穴に指を入れて持ち上げたときに、缶から蓋が少し浮いたことに気が付いたRちゃん。ひっぱったり、覗いたりしてみますが外れず保育者に“開けて～”とアピール！蓋を外してあげるとSちゃんもやってきました。ミルク缶の口は大きく、中身がよく見えたことから、2人で覗き込んだり、手を突っ込んだりし、まるでくじ引きのように取り出していましたよ。中を覗いた後、2人で顔を見合わせて笑う姿も可愛らしく、お互いの様子にも興味をもっているようでした。



蓋を発見！開かないな～

“あけて～”とアピール！



いっぱい入っているね

～音を楽しむMちゃん～

缶が倒れたときに、「カラン」と音が鳴ることに興味を持ったMちゃん。穴から中を覗くと中に何か入っていることに気づいたようです。両手で缶を抱えてフリフリ！！振ったら音が鳴ると思ったのか、振って中身を取り出そうとしたのか目的は分かりませんが、振ったときに「カランカラン」と再び音が鳴り目を丸くして不思議そうな顔をしていました。

また、音を鳴らしていると缶が倒れてころころと転がりました。転がる面白さを感じたMちゃん。手でコロコロと転がし、ハイハイで「まてまて～」というように追いかけていましたよ。缶の素材や形の特性から面白さが生まれたようです。保育者も予測していなかった遊び方でした。

転がることを発見



いい音がするよ



～入れることを楽しむSくん～

興味をもちハイハイをして移動してきたSくん。ペットボトルキャップを左手で床から拾い、右手に持ち替え、穴に入れるという動作を繰り返していました。ストンと落ちない物は、手の平を使って上から押さえる、または人差し指一本で押し込むなど中に入れるための手段や方法を試しながら、手先指先を器用に使って遊びを楽しんでいました。

人差し指で押し込む



手の平を使って押す



寝返りができるようになったよ

寝返りができるようになったAちゃん。視界も変わり、世界が広がって嬉しそうです！

